



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.344 . 1999 . 3 . 1



城山森林公園(勝山町)

目 次

森林病虫害等防除センターの紹介	“樹”	6
..... 2	林研だより	7
複層林施業について	林野火災の状況と対策	8
..... 3	お知らせ	9
シリーズ森林公園		
..... 4		
普及指導最前線		
..... 5		

松くい虫の防除機具を 無料で貸付します

県が、平成九年度に設置した岡山県森林病害虫等防除センターでは、松くい虫被害の一層の鎮静化を図るために、防除機具の貸付、研修会の開催、

被害情報の収集・提供を行い、地域の人たちの自主的な防除活動を支援しています。その中の防除機具の貸付について紹介します。

松くい虫の被害木は、利用価値が低いために伐倒処理が進まない状況にあります。そこで、伐倒・搬出を容易にし、被害木の利用を促進することを目的とした機具を準備しました。

松くい虫被害木の処理を自治会などで行う場合には、ぜひ利用して下さい。

1 主な整備機具を紹介します。
ア 移動式チップパー

伐採した被害木を細かく砕いて、チップにします。

イ 移動式炭化炉

被害木を炭化し、木炭として使用することができます。

ウ 木酢液採取装置・粉炭機
木酢液や粉炭を土壤改良材として利用できます。

エ 簡易搬出機
伐倒した被害木を林外へ搬出する簡易ウインチです。

オ 自動薪割機
被害木を炭化炉やチップパーに入る太さに割ったり、薪を作ったりするのに使用します。

カ 林内作業車



被害木を林外へ搬出するために使用します。

2 貸付の方法
貸付申請書に必要事項を記入のうえ、所管の地方振興局森林課へ提出して下さい。

機具は林業試験場（勝田郡勝央町）に保管していますので、借受者が直接受け取りに行ってください。

貸付は無料です。（ただし、燃料等は借受者負担）

3 貸付対象者
・森林病害虫の防除をする団体、市町村、森林組合等（個人への貸付は行いません）

4 その他
・貸付の期間は、三月間までです。
・貸付申請書は地方振興局森林課、市町村役場にあります。

5 被害材の利用の方法
【チップ化】

林内に散布することによって肥料になるほか、歩道などのマルチング材としても利用できます。

【炭化】

木炭は、燃料のほか、土壤改良剤、水質浄化剤、消臭剤に利用できます。また、炭化の際に取れる木酢液は減農薬に効果があると脚光を浴びています。

防除センターでは、防除機具貸付のほかにも、年二回の研修会、パンフレットの配布などを行っています。くわしいことは、県庁林政課または各地方振興局森林課へお尋ね下さい。

（林政課森林保全係）

岡山県森林病害虫等防除センター 貸付防除機具一覧

防除機具名	台数	仕様
移動式チップパー	2	L 1630 × W1390 × H1210mm 295kg 最大処理径 チップ 75mm シュレツダ 50mm ゴムクローラ自走式
	1	L 2480 × W1160 × H2050mm 950kg 最大処理径 チップ 130mm ゴムクローラ自走式
移動式炭化炉	5	R 1200mm × H1800mm 120kg 3段に分割し、軽四トラックに積載可能。木酢液採取装置付き
粉炭機	2	L 73cm × W100cm × H143cm 手動式 125kg
自動薪割機	5	L 1990 × W900 × H750mm 145kg 油圧により薪割りを行う 最大処理長 66cm 破砕力 9.0 t
簡易搬出機	5	L 1357 × W415 × H498mm 31kg 多目的ウインチ 直引力 345kg リモコン式
動力噴霧器	9	L 310 × W360 × H605mm 8.5kg 背負い式動力噴霧器 23ℓタンク 圧力 25kgf/cm ²
	8	46cc 38cm 4.6kg 伐倒用
チェーンソー	4	38.9cc 40cm 4.1kg 枝払い用
	2	L 2150 × W1070 × H1160mm ウインチ付き ディーゼルエンジン
テルホール	10	最大能力 500kg ワイヤー8.3mm 10m 自重 4kg

複層林施業

複層林とは

複層林とは本来、樹冠層が発達した二層以上の林木の階層を有する森林のことである。また、その発達の度合いにより、二段林、多段林、連続層林（択伐林）などと呼ばれている。

一 複層林施業の長所、短所

〔長所〕

保続性の高い森林に近づけることができる。
作業の平準化を図ることができる。

表層土の流亡、保水機能の低下など皆伐に伴う欠点を避けることができる。
炎天下の過酷な下刈り作業から解放される。
年輪構成の優れた良質材が得やすい。

下層木（幼齢期）の寒害や圧雪害等気象災害を受けにくい。

裸地が目立ちにくくなることに効果がある。

〔短所〕

伐出がコスト高となる。
伐出時に下層木を傷める。

下木は形状比が大きく、冠雪害に対して弱い。

上層木がスギの場合は、後生芽の発生が増える。

二 複層林の類型

複層林を類型化すると次のとおりである。

〔均等ランダム〕

短期二段林
長期二段林
常時複層林

集中

群状複層林
帯状複層林

（一）短期二段林施業

主伐の一〇～二〇年前に樹下植栽して、下層木が目的の大きさに達したら上層を皆伐するものである。

上木と下木が重複する期間がおおむね二〇年未満と短いことが特徴である。

（二）長期二段林施業

短期二段林施業より二段林の期間が二〇年以上と長く、下木がかなり大きくなるまで二段林

の型を保つものである。
（三）常時複層林施業

単層林になる期間がなく、常に二層以上の階層によつて構成されるよう維持回転させる施業である。多段林や連続層林（択伐林）等が含まれる。

（四）群状複層林

一回に伐採、更新する群の大きさは、一辺（直径、又は幅）が上層木の樹高を大きく上まわらない程度の範囲内であること
を原則とする。群を順次遠心的に拡大して、林分を回転させ、やがて、ドッキングさせる施業方法である。

（五）帯状複層林

伐出のしやすさを重視した施業である。

斜面に対して垂直（縦）方向の帯の場合と、水平（横）方向の帯の場合、及びその中間のものがある。

帯の幅は優勢木の樹高程度が望ましい。

（林業専門技術員 山岡嘉助）

シリーズ森林公園 12

「城山森林公園」

城山森林公園は、木材の町として知られる真庭郡勝山町の市街地に近い高田城跡地一帯に位置し、北に城山（別名本丸三二一丁）、南に太鼓山（別名出丸二六一丁）の二つの鐘状の山からなる公園です。周辺には武家屋敷やお寺など歴史的文化財が数多く残るところです。

この公園は、都市周辺及び近郊地域の森林を対象に、森林のもつ保健休養機能の発揮・向上を図ることを目的として、生活環境保全林整備事業として平成六年度から四ヶ年かけて整備された面積三七・〇ヘクタールの森林公園です。

園内は四つのゾーンからなり、車道、遊歩道、木橋、休憩施設、林間広場等が整備されています。

「古城の森」は城山山頂の本丸跡地を中心としたカシ類、コ



古城の森

ナラ等の郷土樹種が自生する区域で、散策やハイキングを目的として遊歩道が整備されており、山頂には広場や休憩施設があり、登山者の憩いの場として格好の場所で展望も良好です。

「ふれあいの森」は太鼓山を中心とした区域で、車道、歩道等が整備されており、市街地に近いことから、朝夕、多くの散策者が見られます。

また、車道、歩道沿いにはイロハモミジ、アジサイ、クチナシ等が植栽され、散策者の目を

楽しませていきます。

なお、太鼓山は昔勝山とも呼ばれ、町名の由来となっています。

そのほかに、「古城の森」と「ふれあいの森」をつなぐ木橋（鼓城橋）が町道を跨いでおり、通行者の目を引いています。



鼓城橋

「紅葉の森」はイロハモミジやブナ、ナラ等の春や秋には新緑や紅葉の美しい区域です。

また、谷沿いの湿潤地には、シヨウブ群なども見られます。

「やすらぎの森」はスギ、ヒノキの人工林を中心とした区域で、展望施設や広場等も整備されており、散策者のやすらぎの場として利用されています。

また、この公園一帯は、数多



やすらぎの森

くの野鳥（アオゲラ、ヤマセミ、ホトトギス等）が観察できるため、銃猟禁止区域にも指定されており、バードウォッチングも楽しめる公園です。

町の中心部からも近く、容易に行けることから町内外の人たちから親しまれており、歴史あふれる憩いの場として利用されています。

ぜひ、お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。

交通

JR中国勝山駅から徒歩一〇分

【問い合わせ先】

勝山町役場 まちづくり振興課
（〇八六七） 四四 二六一一
（真庭普及指導区Ag坂前清治）

普及指導最前線

新しい組織の育成について

当普及指導区では、高齢化等により活動が低迷している林研グループの活性化に取り組んでいます。美しい森づくり運動の推進組織として、新しく活動を始めた『和気美しい森管理委員会』についてお話しします。

「和気美しい森」の整備を、高齢化の進む木倉地域の活性化の起爆剤として期待し、美しい森の指定当時から協力的であった地元の方々を中心に組織化されたもので、町、Agと一緒に

なっており、この地域のまとまりと人材を考慮し、五十六畝に及ぶフィールドをどのように整備するか幾度となく話し合いを行いました。

この地域の山林は昔はマツタケを始めとする野生キノコの宝庫であったこと、人家に近い裏山で炭焼きが盛んに行なわれていたこと、農業の副収入として、シイタケ、クリの栽培が行なわれていたこと、これらの体験者が現在も活躍されて

いること、以上の条件から、始めの一步としてマツタケ山の造成を平成九年度に百四十名の参加により一畝の施業を実施しました。また、林内の整備とあわせて伐採されたアベマキ、コナラを利用したシイタケの植菌作業を行ない一千本の原木を伏せ込むとともに、松くい虫被害木の有効利用を図るため、地元の炭焼き名人の指導により炭窯を製作し、炭焼きを行ないました。

本年度においては、昨年からの作業に加え、オープン後の施設の活用にも大きく影響する事柄である、イベントの立案、参加者の募集、現場の設営、安全管理まですべての面で管理委員会が主体となつて行なえるように指導を行なっています。

そして、平成十一年一月十七日(日)には美しい森周辺において町と準備委員会の主催による「植樹のつどい」が開催されました。

参加者約百七十名で、五百本のサクラの苗木と二千本のドングリポット苗木の植栽を行ない、サクラの苗木には植樹の記念として名札を付けて、今後も自分達の植えた木の成長を見に来てもらえるよう配慮がなされていました。

植栽後、参加者の感想を聞くと、「また、機会があれば参加したい。」と言う人が多く、イベントも盛況のうちに終わることができたと思います。

今後とも、管理委員会を支援・指導し、美しい森を中心とした地域の活性化に寄与できると考えています。

(東備普及指導区Ag 檜尾彰久)



きれいな庭の写真を見ながら「ねえ、こんな雑誌に載っているようなウッドデッキ作れないかな」という妻の何気ない一言から我が家の日曜大工物語は始まりました。

出てくるは外材ばかりなり

日頃影の薄いお父さんとしてはここで名譽挽回とばかり張り切って、本屋やインターネットで資料をあさりはじめました。ところが、出てくるものは「ツバイフォー」、「レッドシダー」などアメリカ流の工法に材料ばかり。どこにも「スギ」、「ヒノキ」なんて出てきません。

さあ、岡山県

のスギやヒノキのために働いているつもりのお父さん頭にきた。そこで、材木屋さんに電話をかけたのですが、「あんだこの業者さんうちが小売りはせんよ」となかなか相手にしてもらえませんでした。

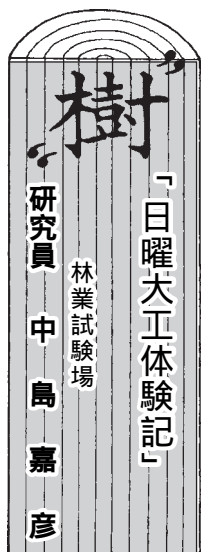
「お父さん、いつもスギやヒノキの自慢話をしとるのに、材料を売ってくれんなんでおかしいね」

あつたぞ地元のスギ

以前子供たちを対象にした「森林教室」で熱心に世話をしていたいただいた「新見木青会（事務局宮永製材所、新見市）」の宮永さんに相談してみたところ、「実はうちでも試作品を作っているんですよ、スギは防腐塗料の吸収もいいし是非作ってみて下さい。」とのご返事、よし、みんなでやろうとなりました。

工法はアメリカ流

材料は県産でも、工法は素人



でも出来る最新のものでやることにしました。「ほぞ」などは使わず、「コーススレッド」という長いねじ釘を電動ドライバーでねじ込んで固定する方法をとりました。これはやり直しや修理が簡単で、強度が高いことが特徴です。これ以外は電動丸鋸その他の手工具が必要。

こんなに材木を使うの！

トラックで来た木材を見て、

「うわー、こんなに材木を使うの」とびっくり。二四平方メートルのデッキに二立方メートルの材木を使いました。二メートル〇・五センチメートルの板二五〇枚、三センチで九センチ角の柱三〇本を使用。

家族で働くなんて久しぶり

いろいろな資料を基に、簡単な工法を選んだので、息子や妻も即戦力。はじめはおっかなびっくりだったのが最後には電動工具を使う様子が頼もしく見えてきました。

がんばれ県産材

工具や塗料などの発達で本格的な日曜大工が楽しめるようになりました。しかし、カタログ



などに出てくるのは外材ばかりで県産材の姿は見えません。

今回、家族で木工をしてみ、木に親しむことが木造離れを防ぎ、本当の需要拡大につながる実感しました。遠回りでもメーカーや工務店だけに働きかけないで直接消費者とつながる接点を充実させる必要があると実感しました。

ウッドデッキで県産材の需要拡大に貢献したいお父さん、ご相談は筆者まで。

<http://www3.tiki.ne.jp/~yoshiko/>
注「」はチルダです。

林研だより



「津々愛林会」

会長 津々 敬一郎

(一)はじめに

当グループのある高梁市中井町津々は、高梁市最北部に位置する典型的な中山間農林業地域であり、北部は新見市、東部は北房町に接しています。備中松山藩土・山田方谷(漢学者)の生誕の地としても知られております。

会の発足は、平成三年度に「津々松くい虫防除班」として組織され、その後平成七年度に、衰退が目立つ地域林業の復興と森林の保全育成に寄与することを目的に、会の名称を「津々愛林会」と称して再編成されました。

会員数は、津々会長以下二十四名であり、会員がお互いに手を取り合い相互扶助の精神で活動を行うことをモットーとして取り組んでおりますので、その状況を紹介します。



中井町津々の風景(祇園山より)

(二)活動内容

当地区は、管内普及指導区の高齢者率平均値二九%の中で三五%と高い地区です。当然のことながら、当林研の会員の構成においても例外ではありませぬ。会員の所有する山林はヒノ

キ・アカマツ林を主体に規模は、一ヘクタール三〇ヘクタール未満と様々でありますがいずれにしても極めて零細です。

近年松枯れによりアカマツ林は見るも無残な山となっており、ヒノキ林についても枝打ち、間伐等の手後れ林分が目立ち森林は荒廃の一途をたどっております。

そこで、当林研ではこのような問題に対処すべく、会員相互により山林作業を行う方法に取り組んでおります。労務賃金は、一日当たり機械持ち一二、〇〇〇円に設定し安価にしてお互いに森林施業に取り組みやすいように配慮されています。

ともすれば後に回され、忘れられかねない植林後の施業、木材の将来を大きく左右する大切な下刈り・枝打ち・間伐等の採育作業を共同で実施することなどにより、山を守り、木を育てる気運を盛り上げております。

こうした中で、平成九年度より会員の所有する山林を対象に、岡山県林業公社への分収造林にも積極的取り組みであり、松くい被害跡地を中心に約一八ヘクタールを植林するなど優良林の育成に真

摺に取り組んでいるところです。

また、「備中ほうこく谷夢づくりの里」をキャッチフレーズに、今年度より地区内市道沿いに桜の苗木百五十本を会員のボランティアにより植栽しました。今後、桜並木の造成に取り組んでいき、数年後には満開の桜の下、会員相互の親睦がより一層深まるものと思われま

(三)おわりに

今後の課題として、現在実施している林業の共同システムを、農業とタイアップさせ第六次産業の育成等、今後の地域的情勢に対応できる強力な組織作りが必要になってきます。

そのためにも我々普及指導職員は、日々技術の研鑽に努め地域に密着した指導がより一層必要となってくるものと考えております。

(高梁普及指導区 芦田都重次)

林野火災の状況と対策

平成十年の山火事発生状況は県民皆様の防火意識の高揚により、一〇 発を超えるような大規模火災の発生はなく、例年に比べ件数・焼失面積とも大幅に減少しました。

しかし、本年に入り乾燥注意報の発令される日が続き、一月から県南部では不審火を含め山火事が頻繁に発生しています。

これから春先にかけては空気が乾燥し風の強い日も多く、山は非常に燃えやすい状態になっています。そのうえ、農作業のあぜ焼きなど野外で火を使う機会も多くなることから、この時期に山火事の約五〇%が集中して発生しております。十分な注意が必要です。

このため、県では、今年度も以下に掲げる様々な事業を実施し山火事予防に努めることとされています。

森林保護巡視事業

保安林、多数の入山者が予想される地域及び林野火災多発地

域において、森林保護巡視員二十五名による山火事予防に関する普及啓発及び火災等災害の早期発見のため巡視活動を実施しています。

林野火災予防対策事業

林野火災特別地域を対象として、防火管理協議会を開催するとともに、予防資機材の配備及び防火施設の整備を行い、林野火災の予防及び被害の軽減を図っています。

・ 十年度実施市町村
邑久町、長船町、牛窓町

事業内容

- 可搬式消防ポンプ 一基
- ホース 一六〇メートル
- 車両搭載用拡声器 一セット
- ハンドマイク 三台
- 土のう袋 五、八四〇枚

森林災害予防啓発普及事業

林野火災多発期に、一般県民を対象に、たき火、たばこの投げ捨て、火遊び等山火事発生の危険行為について意識啓発を図るため、テレビスポット放送や

セスナ機による航空巡視等予防啓発を行なっています。

林野火災予防強化対策事業

林野火災多発危険地域において、林野火災の予防と拡大・延焼防止施設の整備を行い、大規模な林野火災の発生防止を図っています。

・ 十年度実施市町村
玉野市、総社市、矢掛町

事業内容

- 防火管理道 一、三〇〇メートル
- 防火標識 三基

このほか、毎年三月一日から三十一日までを「山火事予防月間」と定め、ラジオ、電光掲示板、広報紙、ポスターの掲示、防火パレードの実施等啓発・巡視活動を強化して予防意識の高揚を図っております。

山火事を発生原因別にみても、ほとんどがたき火の不始末やたばこの投げ捨てなど、ちよつとした不注意から発生しています。

やはり、山火事予防の一番大切なことは、県民の一人一人が細心の注意を払うことです。

特に次のことに注意して、山火事を防ぎ貴重な緑を守って

きましょう。

- 一 枯れ草等のある火災が起りやすい場所では、たき火をしないこと。
- 二 たき火の場所を離れるときは完全に消化すること。
- 三 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- 四 火入れをするときは市町村長の許可を必ず受けること。
- 五 たばこの吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
- 六 火遊びはしないこと。

(治山課 造林係)

お知らせ

「美しい森づくり講演会」の開催

美しい森づくり推進会議（県
下九つの美しい森づくりの会で
構成）では、森林・緑の重要性
について理解と認識を深め、こ
れからの森づくりのあり方など
について考えるため、次のとお
り「講演会」を開催します。
皆様の御来場をお待ちしてお
ります。

一日時

平成十一年三月十九日(金)
一三・三〇～一五・三〇

二場所

岡山市下石井まきび会館
三講師 向後元彦



【演題】

森づくりについて学ぶ
「世界のマングローブ林再
生から」

【講師からのメッセージ】
『マングローブは、熱帯・

亜熱帯に見られる、海の
森。住民の生命や財産
を大潮から守り、食糧や
燃料、建材を与えてくれ
る「命の森」。そのかけ
がえのない森を守るため
に必要なことは、森の大
切さを学び、いまある森
を保護し、失われた森を
植林で再生すること。わ
たしたちが現在取り組ん
でいるふたつのプロジェ
クトの現場から森づくり
について考えてみたい。』

【講師プロフィール】

・一九四〇年東京都生まれ。
・(株)砂漠に緑を代表、NG
Q、マングローブ植林行動
計画代表

・現在NGOとして、ベトナム
（植林支援）、エクアドル（森
林保護）での活動が中心。
・著書に「緑の冒険」（岩波新
書）、「海の森・マングローブ
を守る」（大日本図書）など。

四 定員

二五〇名

五 参加料 無料
六 申込み・問合せ先

県庁林政課
美しい森づくり推進班
☎〇八六二二四二二二
（内線 三三〇三）

お詫び

平成十年度功労者表彰 受賞者の紹介について

平成十一年一月号「林声」第
三四三号で紹介しました平成十
年度功労者表彰受賞者の紹介に
ついて一部漏れがあったのでお
詫びして追加紹介いたします。

一 農林漁業功労者表彰
〈農林水産部長表彰（団体指
導）〉

石井 省三（芳井町西三原）
役職等

・笠岡地区山林種苗組合長
・岡山県山林種苗協同組合理事
功績内容
・過疎化、高齢化の進行により

雇用労働力の確保が困難とな
る中で機械化を積極的に進め
て経営の改善を図り地域生産
者の模範となっている。
・笠岡地区、また県下の山林種
苗生産者のリーダーとして組
合員の福利厚生及び組合の経
営の改善に貢献している。
（林業専門技術員
渡邊 直人）

林産物市場況

製材 (2月下旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値・高値 (千円)	寸法	等級	安値・高値 (千円)	寸法	等級	安値・高値 (千円)
6.0	一等	30 - 35	6.0	一等	40 - 45	10.5	特等	80 - 85
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	105 - 110
9.0	上一	16 - 18	9.0	上一	20 - 22	"	上小	120 - 140
"	一等	22 - 24	"	一等	28 - 30	13.5	特等	85 - 90
10.5	一等	35 - 40	10.5	一等	60 - 63	"	上小	100 - 120
"	特等	40 - 45	"	特等	65 - 72	ラ ス 板		
"	上小	55 - 60	"	上小	110 - 150	2 ^m 1.2× 9.0		23 - 25
"	無節	70 - 90	"	無節	180 - 200	3 ^m 1.2× 9.0		25 - 27
12.0	特等	35 - 40	12.0	特等	70 - 73	2 ^m 1.5× 10.5		25 - 30
"	上小	45 - 50	"	上小	110 - 150	2 ^m 0.9× 24.0		65 - 70
"	無節	60 - 70	"	無節	180 - 200	2 ^m 1.5× 21.0		33 - 37
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	40 - 45	6.0	一等	50 - 55	杉 4m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	23 - 25	9.0	上一	30 - 35	杉 4m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	33 - 35	"	一等	45 - 50	杉 4m 4.5× 10.5	無節	180 - 200
10.5	特等	40 - 45	10.5	特等	70 - 75	桧 4m 4.5× 10.5	上小	150 - 200
12.0	特等	40 - 42	12.0	特等	70 - 75	桧 4m 4.5× 10.5	無節	250 - 300

木材 (2月下旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	-	15	-
	11 - 13	14	16	13
	14 - 16	24	35	13
	18上	18	34	15
4m	7 - 10	-	24	-
	11 - 13	17	24	-
	14 - 16	18	38	18
	18上	18	35	18
6m	14 - 16	25	57	-
	18 - 20	18	47	-

乾しいたけ (2月中旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	平均	高 値
香 信 大 葉	51	55
" 中 葉	51	58
" 小 葉	44	61
パレ 大 葉	34	48
" 中 葉	29	50
ス ラ イ ス	28	39
香 茹	-	-
上 冬 茹	57	68
並 "	47	61
並 並 "	36	47
小 玉 "	41	45
格 外 品	20	42

編集後記

早いもので、ついこの前、新しい年を迎えたかと思えばもう三月となりました。一月は「行く」、二月は「逃げる」と言われますがまったくそのとおりです。三月もこのまま「去ってしまう」のでしょうか。

本年度の「林声」の発行は今月が最後です。たくさんの方々に寄稿していただきました。ありがとうございます。

(A)